幕間（1924）

ENTR'ACTE

メディア 映画
ジャンル アート
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 14分
初公開日 不明

【解説】

タイトルどおり劇場の幕間に映写されることを目的につくられた映像。断片的なシーンの重なり合い。あらゆるアイディア手法がちりばめられ、実験的。大砲が発砲する、踊り子のスカートの下、蜃気楼のらくだ、またまた踊り子のスカートの下、ラストは紙の壁を走り抜ける男のスローモーション……。へんな映像の数珠つなぎだが、今見ても使い古された感じはしない。キャストもこれまた前衛作曲家エリック・サティやソラリゼーション手法で有名な写真家マン・レイなど時代を象徴する顔ぶれで、当時すでにアバンギャルド。前衛から喜劇までパリっ子のエスプリ漂うクレール作品のなかでも、ストーリーもシナリオもないこの作品は見逃せない。この作品の前後にもアバンギャルド指向の作品は多く（日本未公開も多々で悔しい！）、表現者としての自由奔放さはフランス映画界においてのクレールのなせる技といったところか？

【クレジット】

監督	ルネ・クレール	Rene Clair
脚本	ルネ・クレール	Rene Clair
撮影	ジミ・ベルリエ	
音楽	エリック・サティ	Erik Satie
出演	ジャン・ボルラン	
	インゲ・フリス	
	マン・レイ	Man Ray
	エリック・サティ	Erik Satie
	マルセル・デュシャン	Marcel Duchamp

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.